

0歳～16歳までの子どもを持つ父母に聞いた「子どもの花粉症」実態調査
子どもの花粉症は、2006年30.2%→2011年35.6%に増加。
花粉症の子供のうち、82.1%が10歳までに発症。

ロート製薬株式会社（本社：大阪市／社長：吉野俊昭）は、2011年11月・12月、花粉症対策への啓発を目的に、0～16歳の子どもを持つ父母を対象とした「子どもの花粉症」アンケート調査を実施しました。この「子どもの花粉症」に関する調査は、2006年にも実施しており、今回の調査との比較も合わせて、分析結果を発表します。

1) 子どもの花粉症は、2006年30.2%→2011年35.6%に増加。16才以下の3人に1人が花粉症。

自分の子どもが花粉症だと感じている人は、2006年30.2%から2011年では35.6%となり、5.4ポイント増加しました。またこの中で、花粉症に加えて通年性アレルギー性鼻炎を併発していると感じている人も2006年8.6%→2011年11.2%に増加しました。

2) 花粉症の子供のうち82.1%が、「10歳以下」で発症。

子どもが花粉症を発症している親を対象に、発症したと思われる年齢を聞いたところ、「10歳以下」を選んだ人の総計は82.1%。2006年の75.4%と比べ増加しました。

3) 父母の発症率は5年で横ばい傾向。しかし親が花粉症の子供の発症率は増加傾向。

「父母のどちらかが花粉症」「両親ともに花粉症」の人は、2006年66.0%→2011年65.6%とほぼ変動していません。しかし、「父母のどちらかが花粉症の子供の花粉症」（2006年34.6%

→2011年41.6%）、「両親ともに花粉症の子供の花粉症」（2006年49.5%→2011年54.1%）はともに増加傾向にあります。

4) 子どもに花粉症の症状が出ている季節は、「4～5月」が最多62.9%。

1年のうち子どもの花粉症の症状が出ていると感じる季節を聞いたところ、「4～5月」（62.9%）、「2～3月」（56.1%）、「8～10月」（12.7%）という結果になりました。

5) 「自分で目薬をさせない」「マスクを嫌がる」…子どもの花粉症は対策が困難で深刻。

子どもの花粉症についてのエピソードを聞いたところ、「マスクを嫌がる」「鼻水をうまくかめず中耳炎になりかけた」「保育園のお散歩で症状がひどくなる」など、親としては深刻な声が多数寄せられました。

またアンケート結果について、小児アレルギーの専門医からは、「花粉症の低年齢化は進んでおり、集中力の低下など“生活の質”への影響が懸念されています。自然治癒が困難な花粉症は、乳幼児期から花粉回避するなど発症予防が大切。」とのアドバイスをいただいています。

※調査結果は回答した父母の実感によるもので、医師の診察結果による数値ではありません。

●本件に関するお問い合わせ先

ロート製薬株式会社 広報・CSR室

・大阪オフィス：吉本有希、矢野絢子 TEL：06-6758-1211 Fax：06-6758-9820

・東京デスク TEL：03-5442-6074

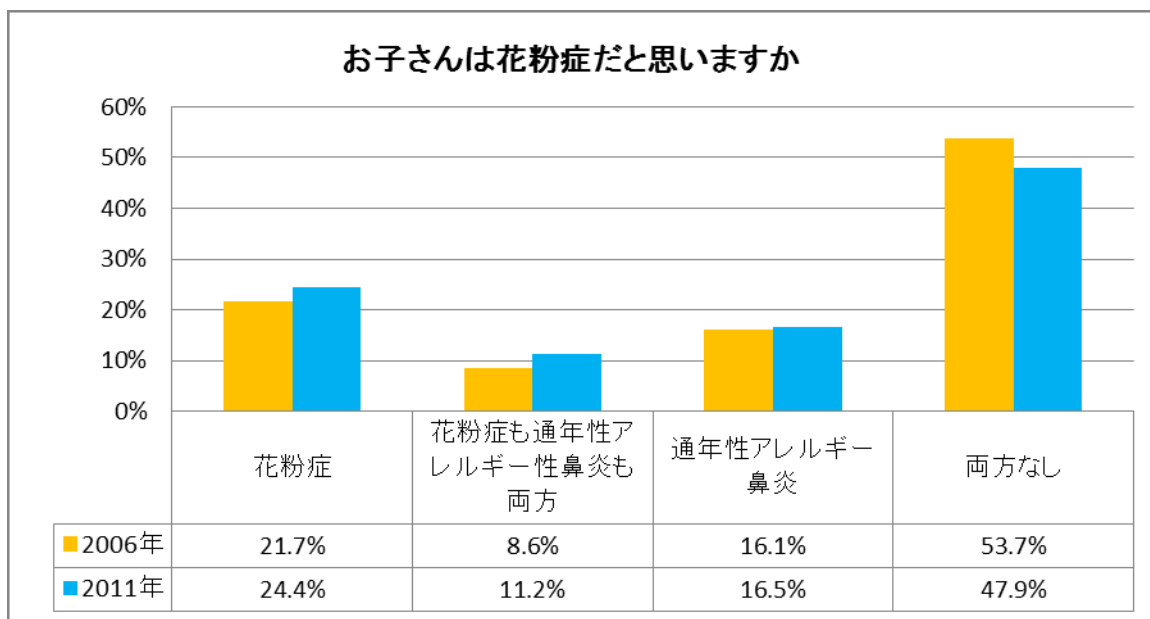
広報・CSR室 大阪・東京共通メールアドレス：pr@rohto.co.jp

調査結果

1) 16才以下の子どもの3人に1人が花粉症。

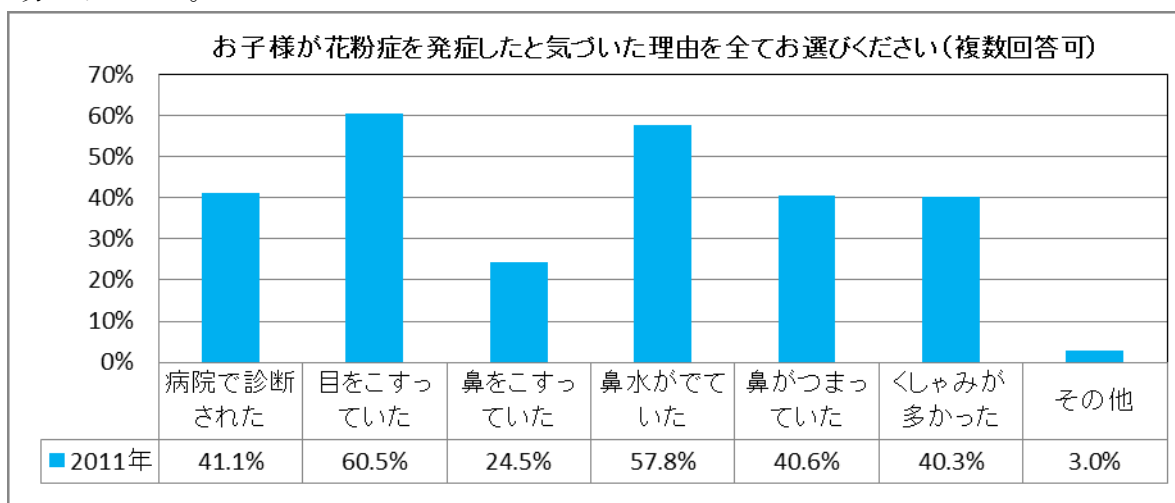
子どもの花粉症は、2006年30.2%→2011年35.6%に増加

自分の子どもが花粉症だと感じている人（「花粉症」発症+「花粉症も通年性アレルギー性鼻炎も両方」発症）は、2011年では35.6%。2006年30.3%と比較すると5.4ポイント増加しました。さらに花粉症に加えて通年性アレルギー性鼻炎を併発していると感じている人も2006年8.6%→2011年11.2%に増加しました。花粉症と通年性アレルギー性鼻炎を合わせると2006年46.4%→2011年52.1%と、半数以上の子どもが何らかのアレルギーに罹っていることとなります。



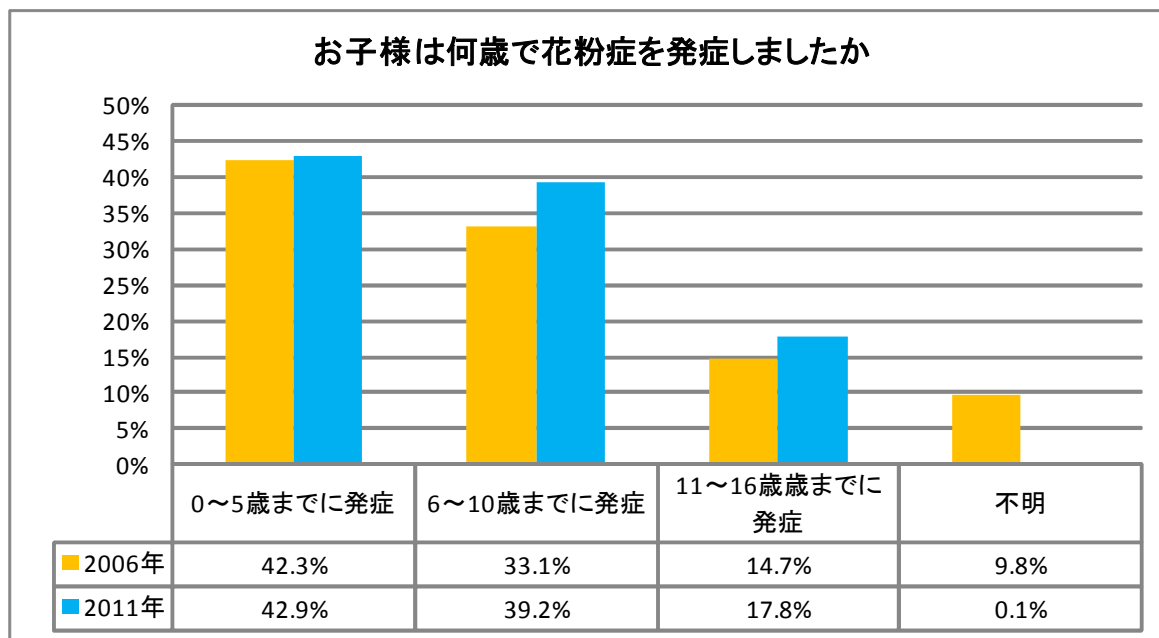
■花粉症を発症している子どものうち、「病院で診断された」子どもは、約4割

自分の子どもが花粉症だと感じている人を対象に、花粉症だと気づいた理由を追加調査したところ、「目をこすっていた」（60.5%）、「鼻がでていた」（57.8%）に次いで、「病院で診断された」（41.1%）の回答が多くみられました。約4割の子どもが病院での診察を受けていることが分かりました。



2) 花粉症の子どものうち、82.1%が「10歳以下で発症」。

子どもが花粉症を発症している親を対象に、発症したと思われる年齢を聞いたところ、「10歳以下」を選んだ人の総計は2006年75.4%→2011年82.1%と増加傾向にあります。また「5歳以下」を選んだ人の総数は、2006年42.3%→2011年42.9%と微増傾向がみられました。



【小児アレルギーの臨床現場から】

末廣 豊 (すえひろ ゆたか) 先生

大阪府済生会中津病院小児科 免疫・アレルギーセンター部長

日本小児アレルギー学会評議員・理事



◆花粉症患者の低年齢化は進んでいます。

他人から分かりづらい子どもの花粉症は、集中力低下など生活の質への影響が心配

花粉症に関する最近の報告を見ると、小児花粉症患者の増加、低年齢化が目立ちます。ご両親がスギ花粉症の場合、理論的には子どもはほぼ100%スギ花粉症になります。花粉症は生命を脅かすことはまずありませんが、集中力低下など生活の質(QOL)を著しく損ないます。さらに、小児の花粉症の症状は、鼻水や連続するくしゃみが出るというより、ぼーっとしているなど、他人からは分かりづらいという特徴がありますので、お母さんが注意してあげることも大切です。

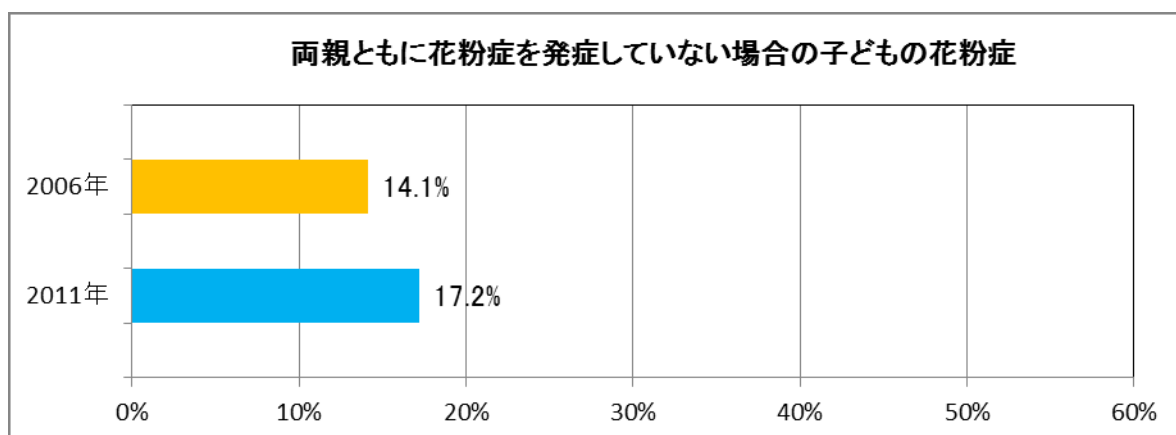
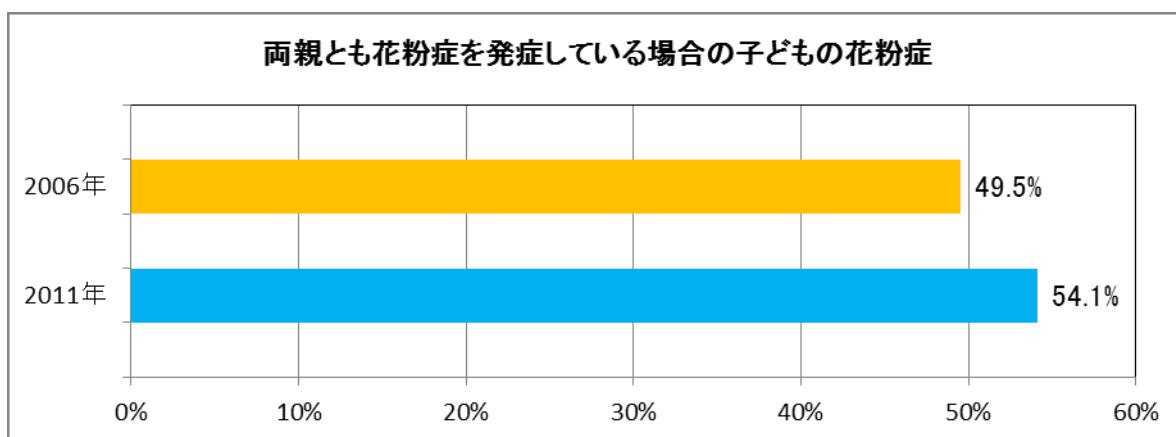
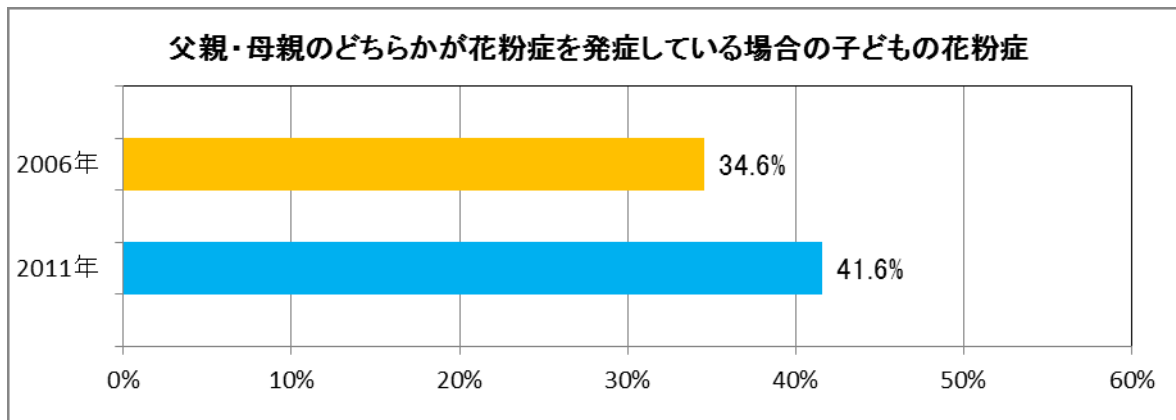
◆乳幼児期からの花粉回避、屋内への花粉侵入の予防など、発症予防が大切。

いったん発症した花粉症が自然寛解する可能性は低いと考えられていますので、治療は発症予防として、乳幼児期から花粉を回避する、屋内への花粉侵入を予防することが大切です。発症してからは、花粉の飛散時期には花粉情報に注意し、早目からの予防治療が大切です。

3) 父母の発症率は5年で横ばい傾向。しかし親が花粉症の子どもの発症率は増加傾向。

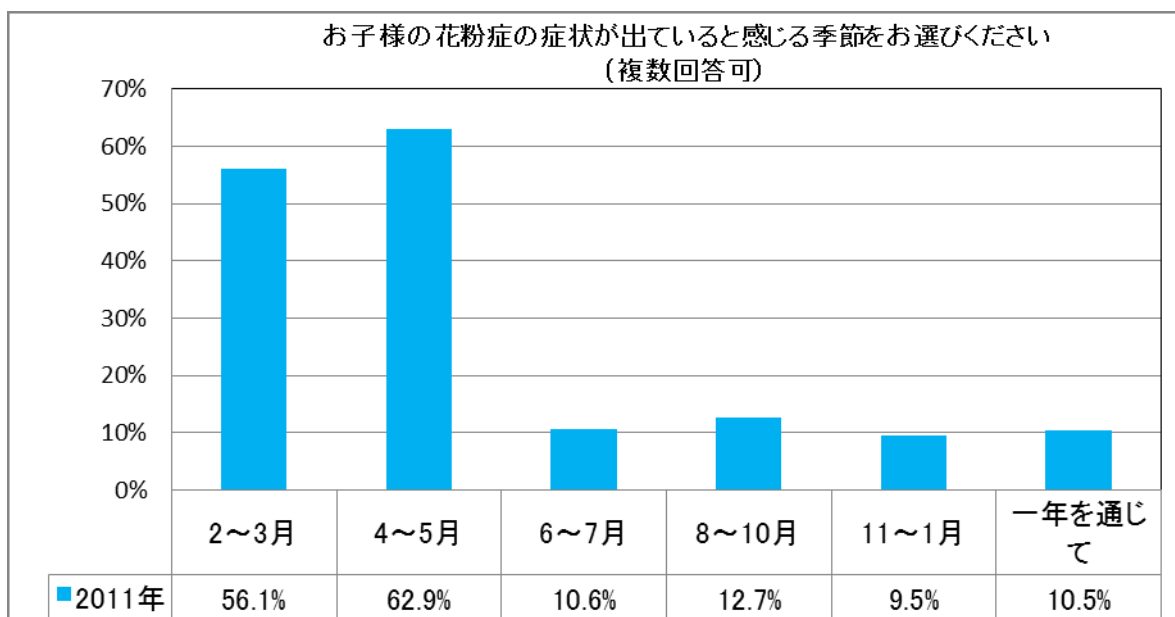
「父母のどちらかが花粉症」「両親ともに花粉症」の人は、2006年66.0%→2011年65.6%とほぼ変動していません。

しかし、「父母のどちらかが花粉症の子どもの花粉症」(2006年34.6%→2011年41.6%)、「両親ともに花粉症の子どもの花粉症」(2006年49.5%→2011年54.1%)はともに増加傾向にあります。



4) 子どもに花粉症の症状が出ている季節は、「4～5月」が最多 62.9%。

1年のうち子どもの花粉症の症状が出ていると感じる季節を聞いたところ、「4～5月」(62.9%)、「2～3月」(56.1%)、「8～10月」(12.7%)という結果になりました。



■「マスクを嫌がる」「自分で目薬をさせない」etc. 子どもならではの花粉症の悩み多数 ※お子様の花粉症に関して、困ったこと・対策・体験談などエピソード。(自由回答より抜粋)

- ・保育園で散歩へ行った日は必ず症状がひどくなるのですが、お散歩へ行かせないのもかわいそうなので困りました。(37歳女性・子ども4歳)
- ・子どもはマスクをしないので、鼻水、つまりがひどく、鼻の周りが赤くかぶれてしまい大変です。(43歳女性・子ども1歳)
- ・部活で野球をしていたのでゴーグルと薬がいつも必要でした。(43歳女性・子ども12歳)
- ・子どもにマスクをさせて外に出ても、すぐに鼻がマスクから出ていたりして役にたたなかった事(36歳女性・子ども8歳)
- ・鼻水をうまくかめないで、すすることが多く、中耳炎になりかけることが多い。目をかゆがってこするので、眼球に傷がつきそうで不安を感じる。(37歳女性・子ども5歳)
- ・喘息との併発の際には身体への負荷が大きかったようです(41歳男性・子ども0歳)
- ・自分で目薬をさせないので、学校などに行っているときには我慢している状態なのがかわいそうだと思います。(40歳女性・子ども5歳)

調査設計

- 調査方法 インターネットによるアンケート調査
- 調査目的 小児花粉症の実態を知っていただくことで花粉症対策の啓発に役立てる
- 調査・分析 ロート製薬株式会社
- 対象エリア 全国
- 調査時期 2006年3月8日～14日、3月24～28日
2011年11月11日～11月16日、12月21日～26日
- 調査対象 0歳～16歳までの子どもを持つ父母
※調査結果は回答した父母の実感によるもので、医師の診察結果による数値ではありません。
- サンプル数 2006年8505人 2011年4096人

	2006年		2011年	
	件数	構成比	件数	構成比
男	4537	53.3%	2208	53.9%
女	3968	46.7%	1888	46.1%
総計	8505	100.0%	4096	100.0%

	2006年		2011年	
	件数	構成比	件数	構成比
0歳	153	1.8%	65	1.6%
1歳	306	3.6%	140	3.4%
2歳	389	4.6%	157	3.8%
3歳	515	6.1%	209	5.1%
4歳	513	6.0%	200	4.9%
5歳	605	7.1%	243	5.9%
6歳	612	7.2%	276	6.7%
7歳	605	7.1%	259	6.3%
8歳	629	7.4%	256	6.3%
9歳	585	6.9%	304	7.4%
10歳	646	7.6%	311	7.6%
11歳	597	7.0%	338	8.3%
12歳	588	6.9%	322	7.9%
13歳	514	6.0%	256	6.3%
14歳	460	5.4%	269	6.6%
15歳	390	4.6%	242	5.9%
16歳	398	4.7%	249	6.1%
総計	8505	100%	4096	100%

子どもの花粉症対策アドバイス

【子どもの花粉症 対策5か条】

他人から分かりづらく自分で対策が充分できない子どもの花粉症は、お父さんお母さんの注意や普段からの心がけがとても大切です。普段の生活の中で以下の5つを気を付けてください。

- 1) 花粉飛散情報をしっかりとチェックしましょう。
- 2) 屋外では、花粉との接触を避ける工夫をしましょう。(マスクの着用など)
- 3) 屋内に花粉を入れないように工夫しましょう。
- 4) 症状が出てしまった場合は、かいて症状が悪化しないように目薬や内服薬の服用を。
- 5) 子どもの症状は気づきにくいので、サインを見逃さないことも大切です。

【ロート製薬 子どもの花粉の時期にオススメの商品】



第3類医薬品

ロート こどもソフト


「やさしさ」を徹底追及した
子ども目薬初の防腐剤フリー※処方。
涙に近いpHでしめないさし心地です。目のかゆみ、充血に。
※防腐剤(ベンザルコニウム塩化物、パラベン)を含んでいません。



第2類医薬品

しょうせいりゅうとうじょう
ロート小育竜湯錠II

グズグズ鼻水、鼻炎に効く、5才から服用できる
1日2回タイプの漢方薬です。
鼻水や水様のたんを伴うせきが出る方の
アレルギー性鼻炎、感冒に。



雑品

ママはぐ®こどもマスク

インフルエンザウイルス飛沫カット機能つき
抗菌フィルターを使用した高機能不織布使用。
子ども用の小さめサイズです。



指定医薬部外品

ママはぐ®うがい薬

子どもにも使いやすいフルーツ味のうがい薬。
お外遊びから帰ってからのうがい習慣を
つけるのにも役立ちます。



第2類医薬品

ロートアルガードs

しめないマイルドタイプの花粉対策点眼薬。
「アルガード」の確かな効き目はそのままに、
やさしいさし心地を追及しました。
清涼感の苦手なお子様や敏感な瞳のかたにも。

(販売名)

ロートうがい薬S (左: スイートフルーツ味)

ロートうがい薬F (右: フルーツ味)